

事務事業評価シート（1/2）

64 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0022
 評価年度 令和 4年度
 所属 1130
 事務事業番号 00254

進捗区分 評価完了
 所属長名 北崎 祐慈
 記入者 和田 圭司

市民部自治協働課
 防犯推進事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022	防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	001	防犯活動の強化				
事務事業	001	防犯推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市生活安全条例、大津市暴力団排除条例、補助金等交付規則				
事業概要	(事業概要) 市民が安心して生活することができる安全な地域社会を実現するため、防犯に関する意識の啓発及び自主的な防犯活動に対する支援を行うことにより、市民ひとりひとりの防犯に対する気運の醸成を図る。また、安全で安心なまちづくりに関する警察との連携協定に基づく取組みの推進や関係機関との連携を強化することで犯罪の防止に取り組み、犯罪のないまちを目指す。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 刑法犯認知件数は、平成25年以降、減少傾向が続いていたが、令和3年から増加に転じた。特殊詐欺は手口が巧妙化し、高齢者の被害も後を絶たないため、犯罪傾向に合わせた防犯対策が必要である。また、犯罪抑止等を目的とした防犯カメラ設置のニーズが増している。 (見直しや改善等の経過) 令和3年1月に締結した「大津市と大津警察署及び大津北警察署との安全で安心なまちづくりに関する協定」に基づき、毎年実施している政策協議において、現状や課題を確認し、防犯対策に連携して取り組んでいる。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民、大津市防犯協会、自主防犯活動団体などを対象に
目的(何のために)	犯罪のない安全で安心な地域社会を実現するために
手段(どのようなやり方で)	警察等の関係機関と連携した啓発活動の展開や、自主防犯活動団体の活動支援等を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	市民の防犯意識を高揚させ、地域の防犯力を向上させる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		21,433	30,917	28,192	31,185	31,185	31,185	31,185
事業費		12,263	18,061	15,336	18,329	18,329	18,329	18,329
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		1,473	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		1,268	0	400	1,268	1,268	1,268	1,268
一般財源		9,522	18,061	14,936	17,061	17,061	17,061	17,061
人件費計		9,170	12,856	12,856	12,856	12,856	12,856	12,856
事務・技術(人)		0.72	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		1.10	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0022
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 事務事業番号 00254 防犯推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-23-00-01-00	防犯推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 自主防犯活動組織の設立件数	団体	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		34.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 人口1万人あたりの刑法犯罪認知件数	件	48.00	46.00	45.00	44.00	44.00	44.00	44.00
		46.80	50.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域や関係機関が相互に連携し幅広い活動ができています		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	犯罪件数が増え目標に達していないが事業が未然防止に活かしている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	地域の実情に応じた自主防犯活動の支援を行っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	防犯意識の高揚のための啓発が生活安全の推進に繋がっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	「自分たちの住むまちの安全は自分たちで守る」という地域の防犯意識の醸成のため、自主防犯活動団体への支援を継続するとともに、警察や防犯協会等の関係機関と連携し、犯罪の特性や発生状況等に応じた取組みを展開していく必要がある。また、犯罪の手口は巧妙かつ多様化しており、犯罪の発生や防犯対策、不審者に関する情報をリアルタイムに発信し、地域の防犯力を向上させていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	警察や防犯協会等の関係機関、地域との連携を密にし、手口が巧妙化する特殊詐欺等の犯罪特性や発生状況に対応した啓発活動に取り組むこと。新たに開設した生活安全ポータルサイトを活用したリアルタイムで分かりやすい情報発信に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00254 防犯推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 自主防犯活動組織の設立件数	団体	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
	指標説明	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり条例に基づく防犯組織						
(成果) 人口1万人あたりの刑法犯罪認知件数	件	48.00	46.00	45.00	44.00	44.00	44.00	44.00
	指標説明	1～12月の市内における人口1万人あたりの 犯罪発生(認知)の件数						

事務事業評価シート（1/2）

67 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0023
 評価年度 令和 4年度
 所属 1130
 事務事業番号 00294

進捗区分 評価完了
 市民部自治協働課
 交通安全推進事業

所属長名 北崎 祐慈
 記入者 和田 圭司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします		
施策	022	防犯力の向上と生活安全の推進		
取組の方向性	002	交通安全のまちづくり		
事務事業	001	交通安全推進事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	交通安全対策基本法			
事業概要	(事業概要) 警察、交通安全協会等の関係機関と連携した全国交通安全運動、交通安全県民運動、近江路交通マナーアップ運動に加え、市独自の「ゆりかもめ運動」等の啓発活動を実施するとともに、未就学児やその保護者、高齢者等、発達の段階に応じた交通安全教室を実施し、交通安全意識の高揚につなげる。 また、交通安全協会、水上安全協会の活動に対する財政的支援により、啓発活動の効果を高める。さらに令和4年4月施行の大津市交通安全基金を活用し事業化していく。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市内の交通事故件数、死傷者数はともに減少するも、死者数は横ばいであり、高齢者の交通事故の割合が高くなっている。とりわけ、死者数の増加にも繋がる交通事故に伴う重傷者数の増加が課題である。 (見直しや改善等の経過) 交通事故のない安全で安心な地域社会の実現に向け、大津市交通安全条例を制定し令和4年4月に施行し、財政上の措置として交通安全基金を創設するとともに、計画的な取り組みを推進するため、第11次大津市交通安全計画を策定した。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び事業者等を対象に
目的(何のために)	交通事故のない安全・安心な地域社会を実現するために
手段(どのようなやり方で)	啓発活動の実施や交通安全教室の開催、交通安全協会への支援をすることで
成果(どのような状態にするのか)	市民の交通安全意識が高揚し、交通ルールの遵守と交通マナーの実践が進む。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	121,924	223,470	38,848	36,181	36,181	36,181	36,181
事業費	105,654	205,941	21,319	18,652	18,652	18,652	18,652
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	6,701	15,106	12,500	12,500	12,500	12,500
一般財源	105,654	199,240	6,213	6,152	6,152	6,152	6,152
人件費計	16,270	17,529	17,529	17,529	17,529	17,529	17,529
事務・技術(人)	1.22	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.10	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0023
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 事務事業番号 00294 交通安全推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-23-00-05-00	交通安全推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)交通安全教室実施回数	回	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		90.00	114.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)街頭啓発従事者数	人	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00
		96.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)交通事故負傷者数	人	980.00	948.00	915.00	882.00	882.00	882.00	882.00
		801.00	752.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)交通事故死亡者数	人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		8.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市、市民、警察等の関係機関が相互に連携し取り組んでいる		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	死亡者数は横ばいで目標に達しておらず、重傷者数が多いため		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	警察等と連携を図り、交通安全基金を活用した取り組みをしている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	交通安全条例に基づく取り組みを通じて、意識醸成に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	幼児・保護者、園職員向けの交通安全教育や様々な機会を通じた啓発活動、警察署や交通安全協会等の関係機関と連携強化を推進するとともに、天津市交通安全条例の制定に合わせ交通安全基金を創設し、実行性ある取り組みを継続していく基盤整備を図った。しかしながら、交通事故に伴う死亡者数は横ばいであり、特に重傷者数が高止まりしている点で課題があり、新たに策定した第11次天津市交通安全計画に基づく取り組みを重点的に推進していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	第11次天津市交通安全計画に基づく各種施策について、天津市交通安全基金も活用して計画的に事業化をし、着実に推進していくこと。特に、計画の目標である重傷者数に関しては、増加傾向にあることから事故発生状況を分析し、警察等の関係機関とも連携し、効果のある啓発活動などに取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00294 交通安全推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)交通安全教室実施回数	回	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		90.00	114.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	交通安全教室1教室実施で1回						
(活動)街頭啓発従事者数	人	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00
		96.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	街頭啓発活動に従事した人数						
(成果)交通事故負傷者数	人	980.00	948.00	915.00	882.00	882.00	882.00	882.00
		801.00	752.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	交通事故負傷者件数とは、「重傷者」と「軽傷者」の合計数						
(成果)交通事故死亡者数	人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		8.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	上記事故によって24時間以内に死亡した者の数						

事務事業評価シート（1/2）

70 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0024
 評価年度 令和 4年度
 所属 1130
 事務事業番号 00614

進捗区分 評価完了
 市民部自治協働課
 自治会育成事業

所属長名 北崎 祐慈
 記入者 藤井 智典

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004	つながりを大切に、共に支えあうまちにします				
施策	011	協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	001	地域コミュニティの充実				
事務事業	004	自治会育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市補助金等交付規則及び要綱					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>自治会の組織化の促進と育成を図るため、市の広報紙、各種回覧物の配布をはじめとする市政運営の協力及び地域における様々な取り組みや活動に対して報償金を交付し、自治会拠点施設の設置・改造に対する「ふれあいの家設置事業補助」や「ふれあい掲示板設置事業費補助」を実施している。また、負担軽減や活性化を目的とした自治会活動のデジタル化について、手法を学ぶ研修会や導入経費の一部補助を実施している。大津市自治連合会に対しては、各学区間の連絡調整や市政運営上の諸施策の協力について助成を行っている。</p>					
------	--	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>役員の固定化や高齢化による担い手不足のなか、新型コロナウイルス感染症により地域コミュニティは影響を受け、アフターコロナを見据えた持続可能な地域コミュニティづくりが必要である。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>市からの依頼事項や行政協力委員の見直しによる負担軽減や、自治会活動のデジタル化に関する研修会や補助を開始し、地域住民が自治会活動に参加しやすい環境づくりを進めている。</p>					
----------------------	--	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自治会、自治会長、学区自治連合会、学区自治連合会長、大津市自治連合会等を対象に					
目的(何のために)	市政運営を円滑に推進し、自治会活動の活性化、地域住民の自治意識や連帯意識の高揚を図るために					
手段(どのようなやり方で)	報償金及び補助金による支援策を講じることで					
成果(どのような状態にするのか)	地域活動基盤の充実や自治会活動の活性化が図れる。					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	144,596	115,886	115,161	147,685	144,185	144,185	141,185
事業費	130,511	103,490	103,545	136,069	132,569	132,569	129,569
国庫支出金	0	3,376	2,500	2,500	0	0	0
県支出金	3,349	1,941	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1,310	17,500	17,500	17,500	17,500
一般財源	127,162	98,173	99,735	116,069	115,069	115,069	112,069
人件費計	14,085	12,396	11,616	11,616	11,616	11,616	11,616
事務・技術(人)	1.47	1.47	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.75	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

71 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0024
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 事務事業番号 00614 自治会育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-16-00-01-00	自治会育成事業費	市民部自治協働課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)ふれあいの家補助金交付件数	件	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		16.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ふれあい掲示板補助金交付件数	件	15.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)自治会数	件	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00
		723.00	724.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)自治会加入率	%	58.10	57.10	58.05	59.02	60.00	60.00	60.00
		56.10	54.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域活動の基盤であり担い手育成や活性化を図ることは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	加入率は減少しているものの、自治会数は維持している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	自治会館や掲示板への補助は地域活動の充実に繋がっている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	自治会の支援・育成は地域コミュニティの充実に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	瀬田北学区モデル事業の成果を他学区に広め展開を図るとともに、自治会活動のさらなる負担軽減、幅広い世代が参画しやすい環境づくり、自治会活動好事例の集約・発信に取り組むため、自治会活動実態調査、自治会活動好事例調査、市内開発事業者・住宅販売業者へのヒアリングを行っていく必要がある。また、誰もが参加しやすい環境づくりのため、自治会活動のデジタル化もさらに促進していく必要があり、活用手法を学ぶ実践的な研修会の開催やデジタル活用の環境整備に係る費用補助の拡充などに取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	瀬田北学区モデル事業の結果を踏まえ他学区への展開を図るとともに、自治会の負担軽減や加入促進に着実に取り組むこと。そのために自治会活動の実情を的確に把握できるよう努めること。自治会活動のデジタル化の促進にあっては、より実効性のある研修会の実施や自治会ニーズにあった補助制度の運用見直しに努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00614 自治会育成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)ふれあいの家補助金交付件数	件	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		16.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		ふれあいの家設置事業費補助金交付件数						
(活動)ふれあい掲示板補助金交付件数	件	15.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		ふれあい掲示板設置事業費補助金交付件数						
(成果)自治会数	件	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00
		723.00	724.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		市内自治会設置数						
(成果)自治会加入率	%	58.10	57.10	58.05	59.02	60.00	60.00	60.00
		56.10	54.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		自治会加入世帯数／住民基本台帳世帯数						

事務事業評価シート（1/2）

73 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0025
 評価年度 令和 4年度
 所属 1130
 事務事業番号 00620

進捗区分 評価完了
 市民部自治協働課
 交流（コミュニティ）施設管理運営事業

所属長名 北崎 祐慈
 記入者 藤井 智典

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004	つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011	協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	001	地域コミュニティの充実				
事務事業	001	交流（コミュニティ）施設管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市滋賀里交流センター条例、木戸交流センター条例				
事業概要	(事業概要) 地域コミュニティ施設として、地域住民の親睦を深め、人と人との交流により地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした、滋賀里交流センター、木戸交流センター、堅田なぎさ苑の管理運営事業。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症による3密回避のための利用者制限や利用の自粛など交流施設の利用を促進する上で引き続き厳しい環境となった。 (見直しや改善等の経過) 木戸交流センターは指定管理者からの事業提案に基づく利用促進に取り組み、滋賀里交流センターは地域交流施設として地域に運営委託し、堅田なぎさ苑は令和2年度に老朽化に伴う解体を行い、地域交流広場として活用していく。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域住民、地域コミュニティ活動を対象に
目的(何のために)	地域交流によるまちづくりを推進するために
手段(どのようなやり方で)	地域コミュニティの場を提供することで
成果(どのような状態にするのか)	住民の主体的なまちづくり活動が活性化する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	24,480	14,192	14,551	18,451	17,851	113,665	11,665
事業費	15,520	5,456	5,815	9,715	9,115	104,929	2,929
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	56	59	30	30	30	30	30
一般財源	15,464	5,397	5,785	9,685	9,085	104,899	2,899
人件費計	8,960	8,736	8,736	8,736	8,736	8,736	8,736
事務・技術(人)	1.12	1.12	1.12	1.12	1.12	1.12	1.12
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

74 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0025
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 事務事業番号 00620 交流（コミュニティ）施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-06-00-25-00	交流（コミュニティ）施設管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)施設利用者数	人	10,000.00	5,100.00	5,300.00	5,300.00	5,300.00	5,300.00	5,300.00
		3,987.00	5,271.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)開館日数	日	570.00	570.00	570.00	570.00	570.00	570.00	570.00
		578.00	592.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一日当たりの利用者数	人	18.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
		6.80	7.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域コミュニティの維持や地域活動の活性化に繋がるものである		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	新型コロナウイルス影響下でも活動拠点として根強い利用はある		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	地域の運営委員会へ委託、指定管理により効率的に運営している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	活動拠点として住民交流の活動に寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	滋賀里・木戸両交流センターは、地域のコミュニティ施設として各種団体による利用が定着しており、さらなる利用促進を図っていく必要がある。堅田なぎさ苑は地域交流の広場として環境を整え、管理運営を地域に委託している。なお、木戸交流センターについては、建物が一体であるデイサービスセンターも含めた更なる有効活用など、あり方の検討を進めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域のコミュニティ施設として各種団体等による利活用の促進を図るとともに、木戸交流センターについては、令和7年度末の指定管理期間満了に向けて、近隣類似施設の状況も見極めて、今後の施設の活用方法等も広く検討していくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00620 交流（コミュニティ）施設管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)施設利用者数	人	10,000.00	5,100.00	5,300.00	5,300.00	5,300.00	5,300.00	5,300.00
	指標説明	延べ施設利用者数 ※平成30年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						
(活動)開館日数	日	570.00	570.00	570.00	570.00	570.00	570.00	570.00
	指標説明	延べ開館日数 ※平成30年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						
(成果)一日当たりの利用者数	人	18.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	指標説明	施設を利用した延べ数／延べ開館日数 ※平成30年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						

事務事業評価シート（1/2）

76 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0026
 評価年度 令和 4年度
 所属 1130
 事務事業番号 03419

進捗区分 評価完了
 市民部自治協働課
 自主運営試行事業

所属長名 北崎 祐慈
 記入者 熊田 菜津子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004	つながりを大切に、共に支えあうまちにします				
施策	011	協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	002	協働の推進				
事務事業	008	自主運営試行事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市立公民館における大津市コミュニティセンター自主運営試行事業実施要綱				
事業概要	(事業概要) 公民館をコミュニティセンター化し、地域による自主運営の実現に向け、地域で運営するための組織づくりや運営ノウハウの習得の機会の提供を目的とした大津市立公民館における大津市コミュニティセンター自主運営試行事業を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化、超高齢化社会の進行、また住民ニーズやライフスタイルの多様化など社会環境の変化とともに、地域では担い手不足や活動の継続が困難となる中、地域の実情に合わせたまちづくりが必要となっている。 (見直しや改善等の経過) 自主運営試行事業において運営ノウハウを習得することで、コミュニティセンター移行後も適切な管理運営の実施につながるよう必要な支援を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公民館管理・運営業務の一部を
目的(何のために)	地域による自主運営の実現に向け、地域で運営するための組織づくりや運営ノウハウの習得の機会の提供を目的に
手段(どのようなやり方で)	地域団体に委託することで
成果(どのような状態にするのか)	コミュニティセンターの自主運営のための組織づくりと運営ノウハウの習得を行い、コミュニティセンター化及び自主運営への移行を目指していく。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,580	7,499	6,774	5,972	5,972	5,972	5,972
事業費	6,420	3,133	2,408	1,606	1,606	1,606	1,606
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,420	3,133	2,408	1,606	1,606	1,606	1,606
人件費計	4,160	4,366	4,366	4,366	4,366	4,366	4,366
事務・技術(人)	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

77 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0026
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 事務事業番号 03419 自主運営試行事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-35-21-00-04-00	自主運営試行事業費	市民部自治協働課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 公民館自主運営モデル事業参加数	学区	8.00	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		8.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 目標達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	コミュニティセンター運営のノウハウを取得する機会となっている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	将来的にコミュニティセンターの運営受託を目指す学区が活用		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	公民館業務について、地域が主体的にノウハウを学ぶことができる		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域活動の活性化による協働のまちづくりの推進に繋がっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	多くの学区において、自主運営試行事業に取組んだ後、公民館からコミュニティセンターへの移行とまちづくり協議会による管理運営の受託に進んでおり、今後も、組織づくりや運営ノウハウを習得できる機会として希望する学区が活用できるよう継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域の希望に応じて、公民館から地域が管理運営するコミュニティセンターへ適切に移行できるよう、組織づくりや管理運営のノウハウを学べる機会として継続するとともに、必要な支援に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 03419 自主運営試行事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 公民館自主運営モデル事業参加数	学区	8.00	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	8.00 4.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 公民館自主運営モデル事業の参加学区数 ※令和2年度以降は公民館自主運営試行事業の参加学区数						
(成果) 目標達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00 80.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 公民館自主運営モデル事業の参加学区目標達成率 ※令和2年度以降は公民館自主運営試行事業						

事務事業評価シート（1/2）

79 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0027
 評価年度 令和 4年度
 所属 1130
 事務事業番号 04026

進捗区分 評価完了
 市民部自治協働課
 コミュニティセンター管理運営事業

所属長名 北崎 祐慈
 記入者 熊田 菜津子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004	つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011	協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	002	協働の推進				
事務事業	007	コミュニティセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市コミュニティセンター条例、大津市コミュニティセンター管理運営業務委託事業実施要綱				
事業概要	(事業概要) 地域の実情に合わせてコミュニティセンターを設置し、まちづくり協議会に運営を委託することにより、まちづくり活動の拠点としての機能を活かし、地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化、超高齢化社会の進行、また住民ニーズやライフスタイルの多様化により、地域では担い手不足や活動の継続が困難となる中、地域の実情に合わせてまちづくりが必要となっている。 (見直しや改善等の経過) 公民館のコミュニティセンターへの移行については、地域と協議を重ねながら、地域の実情に合わせて進めており、地域の力でコミュニティセンター事業が充実するよう進めてきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	コミュニティセンターの管理運営業務を
目的(何のために)	地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進するために、
手段(どのようなやり方で)	まちづくり協議会に委託することで、
成果(どのような状態にするのか)	コミュニティセンターにまちづくりの担い手が集い様々な地域活動が活発に行われるなど、地域のまちづくりの活動拠点としての機能を活かし、多様な主体による協働のまちづくりを推進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	54,554	89,251	113,044	115,221	125,539	136,524	149,451
事業費	33,834	57,760	81,428	87,790	92,978	98,053	109,420
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,602	3,834	4,278	4,278	4,813	5,348	5,883
一般財源	31,232	53,926	77,150	83,512	88,165	92,705	103,537
人件費計	20,720	31,491	31,616	27,431	32,561	38,471	40,031
事務・技術(人)	1.82	2.52	2.82	2.82	3.12	3.52	3.72
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.10	0.20	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
会計年度任用(人)	1.80	3.45	2.00	0.65	1.55	2.45	2.45
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

80 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0027
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1130 市民部自治協働課
 事務事業番号 04026 コミュニティーセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-55-00-01-00	コミュニティセンター管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) コミュニティセンター設置数	学区	8.00	14.00	15.00	19.00	20.00	20.00	20.00
		8.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 地域による自主運営実施数	学区	8.00	14.00	15.00	19.00	20.00	20.00	20.00
		8.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	まちづくり協議会による運営で、地域の拠点として機能している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	担い手が集い活動することが、協働のまちづくりの推進に繋がる		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	各種団体を包括したまちづくり協議会が運営するため効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域活動の拠点として、協働のまちづくりの推進につながる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域の実情に応じて16学区において公民館からコミュニティセンターへの移行が図られ、地域の主体的な協働のまちづくりを推進するための基盤ができつつある。今後は、地域の実情に合わせたコミュニティセンターへの移行を踏まえた、令和6年度末の移行期限への対応を検討するとともに、センターの適切な運営と地域活動の活性化につながる見直しを図っていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大津市コミュニティセンター条例に基づく令和6年度末の移行期限に向けて、これまでの取組の中間総括の作業を進めるとともに、現状を踏まえた対応を検討すること。コミュニティセンターの有効活用による地域活性化を図るための取組を検討すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
所属 1130 市民部自治協働課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 04026 コミュニティセンター管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)コミュニティセンター設置数	学区	8.00	14.00	15.00	19.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	地域の実情に合わせた公民館のコミュニティセンター化実施学区数						
(成果)地域による自主運営実施数	学区	8.00	14.00	15.00	19.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	地域の主体的なまちづくり活動の拠点としての自主運営実施数						

事務事業評価シート（1/2）

82 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0028
 評価年度 令和 4年度
 所属 1168
 事務事業番号 01217

進捗区分 評価完了
 市民部市民相談室
 広聴及び市民相談事業

所属長名 井上 正道
 記入者 井上 正道

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	035	開かれた市政の推進				
取組の方向性	002	オープンデータ等による市政情報の発信				
事務事業	008	広聴及び市民相談事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>本市の市政及び事務事業全般に係る広聴活動や、市民の日常生活の中で行政に関わるものも含めた相談業務を実施している。広聴活動では、個別広聴として「市民の声」、集団広聴として「学区要望」を実施している。また、相談業務では、一般相談や特別相談などの受動的相談と、大津市コールセンターFAQ掲載やくらしの便利帳発行などの能動的相談を実施しており、特別相談では、市が介入することが出来ない市民の抱える諸問題の解決の一助として専門家への相談の機会を提供している。</p>					
------	---	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>複雑化する要望や意見等を市政へ反映するための手法や、生活様式が多様化する中、市民が抱える問題を解決するため専門家に相談する機会の確保が求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>令和2年度は、特別相談では、終活や相続の多様な相談の需要に応えるべく、司法書士による「相続手続相談」を開設した。令和3年度は、市民相談室やコールセンターなどに寄せられた要望、相談などの「市民の声」を整理、分類し、統計的に分析して事務事業に反映させる仕組みを構築し運用を始めた。また、学区要望では、修繕依頼を通年で行えるように変更し、対応の迅速化を図った。</p>					
----------------------	--	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に					
目的(何のために)	市民からの要望や意見などを市政や事務事業等に反映するため、また、市が介入することができない市民からの相談を解決するため。					
手段(どのようなやり方で)	市民から寄せられる要望や意見等を迅速に担当部局に伝達するとともに、コールセンターなどに寄せられた「市民の声」を統計的に分析して事務事業等に反映させる仕組みを運用し、進捗及び結果について広報広聴推進本部会議で共有する。また、弁護士、税理士、司法書士等の専門家による定期的な特別相談を開設する。					
成果(どのような状態にするのか)	市民からの要望や意見等が、事務事業に反映される。また、市民の抱える問題の早期解決に繋がる。					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	38,272	35,708	26,305	33,742	33,742	33,742	33,742
事業費	10,869	10,488	6,674	11,069	11,069	11,069	11,069
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,869	10,488	6,674	11,069	11,069	11,069	11,069
人件費計	27,403	25,220	19,631	22,673	22,673	22,673	22,673
事務・技術(人)	2.40	2.19	1.51	1.90	1.90	1.90	1.90
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.65	0.65	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
会計年度任用(人)	1.43	1.43	1.43	1.43	1.43	1.43	1.43
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

83 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0028
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1168 市民部市民相談室
 事務事業番号 01217 広聴及び市民相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-54-00-01-00	広聴及び市民相談事業費	市民部自治協働課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)市民相談対応件数	件	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00
		3,201.00	3,388.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)特別相談(委託料分)利用率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		77.67	76.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	コールセンターや市民相談室などに寄せられた要望、意見などの「市民の声」を整理、分類し統計的に分析して事務事業に反映させる仕組みを運用するとともに、市民が抱える様々な課題の早期解決が図れるよう、専門家による相談機会を提供する。これらの広聴活動、相談業務を推進することで、市民ニーズに応じたより適切な市民サービスに努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民のライフスタイルや価値観の多様化により、市民の意見も様々であることから、意見の一つ一つに丁寧に耳を傾け、市民の立場に立って担当課に伝える市民と行政との繋ぎ役として、業務を遂行すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1168 市民部市民相談室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01217 広聴及び市民相談事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)市民相談対応件数	件	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00
	指標説明	3,201.00	3,388.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		一般相談＋特別相談						
(成果)特別相談(委託料分)利用率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
	指標説明	77.67	76.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		年間利用件数／年間開設件数						

事務事業評価シート（1/2）

85 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0029
 評価年度 令和 4年度
 所属 1168
 事務事業番号 02581

進捗区分 評価完了
 市民部市民相談室
 コールセンター管理運営事業

所属長名 井上 正道
 記入者 井上 正道

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	035	開かれた市政の推進				
取組の方向性	002	オープンデータ等による市政情報の発信				
事務事業	007	コールセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						

事業概要	<p>(事業概要) 電話、ファクシミリ及び電子メールによる問合せ等を一元的に受け付け、より迅速で適切な電話対応及びスムーズな担当課への引継ぎを実現し、市民サービスの向上並びに職員の負担軽減及び市民の声の蓄積による事務事業の改善を図る。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) ライフスタイルや市民生活における情報ニーズが多様化する中、市の事業等に関する問い合わせも多種多様である。このことから、市に対する電話等の問い合わせの最初の窓口として、柔軟かつ丁寧で質の高いサービスの提供が求められる。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度10月より、公募型プロポーザルにより選定した新たな受託者によって運営している。毎月、事業者との定例会において業務の報告を受け、改善を図るとともに、オペレーターのスキルアップやFAQの充実に取り組むことで、市民サービスの向上に努めている。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市に連絡をいただいた方に
目的(何のために)	市民サービスが適格に提供できるため、また、行政事務の効率化を図るため
手段(どのようなやり方で)	コールセンターを設置して代表電話やメールを一元的に受け付けて、コールセンターにおいてFAQなどの行政情報により回答可能なものは回答完了し、回答不可能なものは業務所管課への確に転送することで
成果(どのような状態にするのか)	問合せ窓口のワンストップ化や、高い電話応対技術による標準化された回答により、市民サービスが向上する。さらに、コールセンター回答率を高めることで、市の業務所管課の対応に係る負担が軽減する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	61,374	61,094	76,558	81,615	81,615	81,615	81,615
事業費	56,171	56,171	64,825	72,222	72,222	72,222	72,222
国庫支出金	0	0	265	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,481	3,482	4,602	4,478	4,478	4,478	4,478
一般財源	52,690	52,689	59,958	67,744	67,744	67,744	67,744
人件費計	5,203	4,923	11,733	9,393	9,393	9,393	9,393
事務・技術(人)	0.45	0.50	1.30	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.10	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
会計年度任用(人)	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0029
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1168 市民部市民相談室
 事務事業番号 02581 コールセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-54-00-02-00	コールセンター管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 応答率	%	95.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		86.30	90.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 着信しオペレーターが応答するまでの平均時間	秒	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		10.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 市民満足度総合評価（5点満点）	%（点）	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.92	4.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) コールセンター回答率（令和5年度より適用）	%	0.00	0.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	専門的な事業者へ委託することにより迅速、丁寧な対応ができる。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	オペレータースキル向上により市民満足度も高い評価を得ている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	応対品質向上とFAQの充実でサービス向上と事務効率化を図る。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民サービス向上と職員の負担軽減に寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	市民からの電話やメール等による問い合わせを一元的に受け付け、迅速で丁寧な対応により、回答の完了及び担当課への引き継ぎを適切に実施し、市民サービス向上と職員の負担軽減に寄与している。また、オペレーターのスキルアップやFAQの充実にも努めている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	令和5年度は、コールセンターの更新にもあたることから、これまでの取り組みの成果を振り返り、仕様等の必要な見直しを行い、一層の市民サービスの向上に努めること。		

事務事業評価指標一覧

87 頁
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1168 市民部市民相談室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02581 コールセンター管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 応答率	%	95.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
	指標説明	86.30	90.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		応答件数/着信件数						
(活動) 着信しオペレーターが応答するまでの平均時間	秒	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	10.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		コールセンターが着信しオペレーターが応答するまでの平均時間 (計算式 合計応答時間÷応答件数)						
(成果) 市民満足度総合評価 (5点満点)	% (点)	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	4.92	4.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市民満足度総合評価 (5点満点) の平均点数						
(成果) コールセンター回答率 (令和5年度より適用)	%	0.00	0.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市民からの依頼による転送を除きコールセンターで回答できた件数の割合 (品質評価基準の中で重要な項目であることから令和5年度より適用) (回答完了対応時間は品質評価基準にない数値のため令和5年度で終了する)						
(成果) 回答完了対応時間 (令和5年度で終了)	時間	5,000.00	5,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	1,861.00	1,544.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		オペレーターで回答完了した電話の年間対応時間 (スキル向上及びFAQ充実により時間が短縮) (品質評価基準にない数値のため、令和5年度で終了する)						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0030
 評価年度 令和 4年度
 所属 1119
 事務事業番号 00766

進捗区分 所属評価
 市民部文化振興課
 市展・文化祭・写真展等事業

所属長名 櫻田 八知栄
 記入者 棚座 大介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020	文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001	文化・芸術の振興				
事務事業	001	市展・文化祭・写真展等事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	文化芸術基本法					
事業概要	(事業概要) 美術展覧会・写真展覧会並びに短歌・俳句大会、湖都の文学の発刊等、市民に日頃の文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、市民の主体的な文化活動を支援する。また、各学区の文化団体や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対して補助を行っている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 美術展、写真展等への出品や文化祭への参加は高齢者が多い。次世代を担う若年層の活動への継続的な働きかけが求められている。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、出品数や参加数は減少してきている。 (見直しや改善等の経過) 美術展や写真展の出品数を増やすため、募集要項を定める会議を例年よりも1か月以上前倒しして実施し、作品の募集開始時期を早めた。また、美術展や写真展のU—30奨励賞を継続し、引き続き若年層の参加促進を図った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市展・写真展：県内に在住、在勤、通学する高校生以上の者を対象に 文化祭：学区文化団体及び芸術文化団体を対象に
目的(何のために)	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表及び鑑賞する場を提供するとともに、市民の主体的な文化活動を支援するために
手段(どのようなやり方で)	市展・写真展：公募により作品募集を行い、入選作品を展示するとともに、優れた作品に対し、賞を授与し 文化祭：地域や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対し補助金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,816	16,997	19,504	20,304	19,804	19,804	19,804
事業費	5,491	6,873	7,976	8,776	8,276	8,276	8,276
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,491	6,873	7,976	8,776	8,276	8,276	8,276
人件費計	6,325	10,124	11,528	11,528	11,528	11,528	11,528
事務・技術(人)	0.50	0.98	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.75	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0030
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1119 市民部文化振興課
 事務事業番号 00766 市展・文化祭・写真展等事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-20-00-03-00	市展・文化祭・写真展等事業費	市民部文化振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 募集要項・ポスター一配布数	枚	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00
		10,400.00	8,915.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 補助金交付団体数	団体	40.00	48.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		29.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 出品数	点	4,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
		5,488.00	5,616.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 入場者数	人	14,000.00	14,000.00	16,000.00	16,000.00	16,000.00	16,000.00	16,000.00
		11,973.00	20,059.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている		A
		B やや上がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している		A
		B やや貢献している		
評価理由	市民・事業者・市の三者協働により推進しており妥当である。			
評価理由	入場者数も増え、文化芸術の活気が戻ってきている。			
評価理由	文化連盟・芸術団体の知見やノウハウを活用し、効率的である。			
評価理由	成果を発表する場を提供し、文化芸術の振興に寄与している。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	引き続き、多くの市民に日頃の文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図っていく。 また、令和5年度はホームページのリニューアルを行う。今まで以上に写真や動画を活用し、文化芸術の魅力を直接的・視覚的に伝えるとともに、SNSを活用し幅広い年齢層へ情報発信する。市民ニーズやトレンドを的確にとらえ、特に若年層の文化芸術に対する興味関心を高めることを推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	美術展・写真展・文化祭は、実行委員会の運営により、大津市文化連盟及び各芸術文化団体の知見やノウハウを活用しながら、効率的な手法や参加促進のための方策を取り入れ、一定の成果がみられる。今後も、より多くの市民が文化に親しめる場を提供できるよう、実行委員会で検討し、事業の推進に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度
 所属 1119 進捗区分 所属評価
 総合計画 03 市民部文化振興課
 事務事業番号 00766 大津市総合計画 第2期実行計画
 市展・文化祭・写真展等事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)募集要項・ポスター配布数	枚	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00
	指標説明	10,400.00	8,915.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市展・写真展、文化祭に係る要項、ポスターの配布数						
(活動)補助金交付団体数	団体	40.00	48.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	指標説明	29.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		文化祭開催に対する補助金交付団体数（芸術文化団体、地域文化団体）						
(成果)出品数	点	4,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
	指標説明	5,488.00	5,616.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市展・写真展・文化祭（短歌・俳句大会、湖都の文学）への出品数						
(成果)入場者数	人	14,000.00	14,000.00	16,000.00	16,000.00	16,000.00	16,000.00	16,000.00
	指標説明	11,973.00	20,059.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市展・写真展・文化祭への入場者数（令和3年度以降は学区・芸術団体の文化祭を含む）						

事務事業評価シート（1/2）

91 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0031
 評価年度 令和 4年度
 所属 1119
 事務事業番号 00778

進捗区分 所属評価
 市民部文化振興課
 文化振興事業

所属長名 櫻田 八知栄
 記入者 棚座 大介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020	文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001	文化・芸術の振興				
事務事業	007	文化振興事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	文化芸術基本法					
事業概要	(事業概要) 「大津市文化振興計画」に基づき、文化振興の推進を図るため、文化団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援及び賞の交付を行うとともに、伝統文化体験や、文化団体派遣事業を実施し、身近な鑑賞機会を提供する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高度情報化や価値観の多様化が進むとともに、人々の生活様式や社会構造も変化していることなどを背景に、働く世代や子ども・若者の文化活動への参加が減少してきている。こうした社会環境の変化に対応した文化活動への支援やきっかけづくりを幅広い年齢層に対して働きかけることが求められている。 (見直しや改善等の経過) 令和3年度から、新たに文化団体派遣事業を実施し、身近な鑑賞機会の提供に努めた。また、小中学生とその保護者を対象に「おおつ伝統文化親子教室」を開催し、伝統文化に触れる機会を創出した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民や文化団体等を対象に
目的(何のために)	文化活動を支援するために
手段(どのようなやり方で)	文化団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援及び賞の交付を行うとともに、伝統文化体験や、文化団体派遣事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	自主的な文化活動が促進されるとともに、市民にとって身近な鑑賞機会が提供される。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,964	13,780	15,594	16,662	15,157	15,486	15,157
事業費	6,747	5,414	5,434	6,502	4,997	5,326	4,997
国庫支出金	2,846	3,008	707	707	707	707	707
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1,355	301	301	301	301
一般財源	3,900	2,405	3,372	5,494	3,989	4,318	3,989
人件費計	8,217	8,366	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160
事務・技術(人)	0.69	0.85	1.08	1.08	1.08	1.08	1.08
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.87	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0031
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1119 市民部文化振興課
 事務事業番号 00778 文化振興事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-20-00-01-00	文化振興事業費	市民部文化振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)共催・補助事業数	事業	4.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		4.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)後援名義使用承認及び賞交付件数	件	120.00	120.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		93.00	125.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)共催・補助した文化活動（催し等）への参加者数	人	20,000.00	25,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		4,341.00	6,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)後援した文化・芸術事業への参加者数	人	50,000.00	105,000.00	110,000.00	120,000.00	130,000.00	150,000.00	150,000.00
		102,604.00	111,719.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	「第3次大津市文化振興計画」に基づき、市民や文化団体の自主的な文化芸術活動を促進し、誰もが身近に文化・芸術に親しめる機会を創出する。文化芸術活動を担う人材の育成や支援はもとより、コロナ禍によって停滞していた文化芸術活動の回復を目指し、文化団体派遣事業等をはじめとした、文化芸術に触れる場の提供など、次世代を担う子どもや若者をはじめ、多くの市民が身近に文化芸術に触れることができる環境を充実させ、市民の文化芸術活動の振興を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	アフターコロナにおいて、文化芸術の役割が見直され、市民の文化的需要が高まることが見込まれることから、多くの市民が身近に文化芸術に触れることができる環境をより充実させる等、「第3次大津市文化振興計画」に基づき、総合的な文化行政の推進に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1119 市民部文化振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00778 文化振興事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)共催・補助事業数	事業	4.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	指標説明	4.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
文化活動等に対する共催・補助事業数								
(活動)後援名義使用承認及び賞交付件数	件	120.00	120.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
	指標説明	93.00	125.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
後援名義の使用承認数（及び賞を交付した件数）								
(成果)共催・補助した文化活動（催し等）への参加者数	人	20,000.00	25,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
	指標説明	4,341.00	6,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
補助した団体等が行っている文化活動（催し等）の参加者数								
(成果)後援した文化・芸術事業への参加者数	人	50,000.00	105,000.00	110,000.00	120,000.00	130,000.00	150,000.00	150,000.00
	指標説明	102,604.00	111,719.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
後援名義の使用を承認した催し等の入場者数								

事務事業評価シート（1/2）

94 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0032
 評価年度 令和 4年度
 所属 1125
 事務事業番号 00773

進捗区分 評価完了
 市民部市民文化会館
 市民文化会館管理運営事業

所属長名 櫻田 八知栄
 記入者 柳田 秀

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020	文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001	文化・芸術の振興				
事務事業	005	市民文化会館管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	市民文化会館の設置及び管理に関する条例					
事業概要	(事業概要) 市民が安全かつ快適に文化活動ができる場を提供し、市民文化の向上及び発展に寄与するため、市民文化会館の管理運営を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の影響の中ではあるが、市民や団体による芸術文化活動（ダンス・書道・絵画等）などの自発的活動の場が求められている。 (見直しや改善等の経過) 物価高によるコストの増大のため、省エネなど節電対策を行い、支出を抑制するとともに、施設の適切な維持管理に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び各種文化団体・サークル等に
目的(何のために)	文化活動の場を提供するため
手段(どのようなやり方で)	安全かつ快適な環境で文化活動ができるように、施設の提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	市民の文化の拠点施設として、市民を中心とした文化振興活動をより活発にする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	25,203	27,015	32,765	34,403	31,480	27,681	28,781
事業費	9,166	11,398	17,148	18,786	15,863	12,064	13,164
国庫支出金	40	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	4,000	0	0	0	0
その他	3,791	2,488	3,929	2,487	2,487	2,487	2,487
一般財源	5,335	8,910	9,219	16,299	13,376	9,577	10,677
人件費計	16,037	15,617	15,617	15,617	15,617	15,617	15,617
事務・技術(人)	0.30	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務(人)	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

95 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0032
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1125 市民部市民文化会館
 事務事業番号 00773 市民文化会館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-10-00	市民文化会館管理運営事業費	市民部市民文化会館

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)貸室利用件数	件数	700.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00
		767.00	854.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)貸室利用件数目標達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		109.57	94.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	書道や音楽・美術教室など市民の多様な文化活動を支えている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	文化活動の利用が増加している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	会計年度任用職員で日常の運営を行っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民の自発的な文化活動を支える施設として利用されている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大する中、目標値には届かなかったものの利用者は前年度より増え、新型コロナウイルス感染症が拡大する前の平成30年度の利用件数(806件)を超えた。今後は本格的な市民の文化活動が再開するなか、引き続き利用しやすい環境を維持し、さまざまな活動に利用されるように努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症が第5類に移行となり、市民の文化活動も従来に戻るものと考えている。引き続き多くの方に利用してもらえるように、施設の適切な維持管理及び運営に努めること。		

事務事業評価指標一覧

96 頁
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1125 市民部市民文化会館
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00773 市民文化会館管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)貸室利用件数	件数	700.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00
	指標説明	767.00 854.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 多目的ホール・会議室・和室の年間利用件数(延べ件数)						
(成果)貸室利用件数目標達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	109.57 94.89 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 貸室利用件数(実績)÷貸室利用件数(目標)						

事務事業評価シート（1/2）

97 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0033
 評価年度 令和 4年度
 所属 1126
 事務事業番号 00771

進捗区分 評価完了
 市民部長等創作展示館
 長等創作展示館維持管理運営事業

所属長名 平石 誠二
 記入者 西辻 崇志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020	文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001	文化・芸術の振興				
事務事業	003	長等創作展示館維持管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市創作展示館条例					
事業概要	(事業概要) 長等の豊かな自然と歴史文化の中で美術工芸作品を鑑賞及び創作する場を提供し、市民文化の向上及び発展に寄与するため、創作展示館を運営する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 来館者は比較的高齢者が多いため、幅広い世代の来館・利用に向けた取組が必要である。 (見直しや改善等の経過) 創作室においては活動中の絵手紙、水墨画、水彩画、陶芸の創作グループによる作品創作・展示及び合同作品展を開催し、展示室においては定期的に絵画の展示替えを行っているほか、他の文化施設等と連携することなどにより周知と誘客に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民等来館者を対象に
目的(何のために)	主体的に文化に触れ、学び、創作する場や機会を提供し、湖都文化の発展や理解推進に寄与するため
手段(どのようなやり方で)	作品展や絵画展等の企画展を随時開催するとともに、多様な広報や近隣施設等との連携を図り、市民等に美術工芸作品に関わる鑑賞及び創作する場や機会を提供することにより
成果(どのような状態にするのか)	市民等の心豊かで潤いのある生活、個性豊かで活力ある地域社会の創造を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	25,841	28,539	21,535	25,465	25,091	23,746	24,559
事業費	4,085	4,011	3,507	7,437	7,063	5,718	6,531
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,548	1,963	1,955	2,065	2,000	2,000	2,000
一般財源	1,537	2,048	1,552	5,372	5,063	3,718	4,531
人件費計	21,756	24,528	18,028	18,028	18,028	18,028	18,028
事務・技術(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
再任用(人)	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	2.76	1.88	1.88	1.88	1.88	1.88	1.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

98 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0033
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1126 市民部長等創作展示館
 事務事業番号 00771 長等創作展示館維持管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-01-00	長等創作展示館管理運営事業費	市民部長等創作展示館

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 企画展等開催数	回	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 貸室使用件数	件	120.00	150.00	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00
		194.00	169.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 入館者数	人	2,000.00	2,000.00	1,800.00	2,000.00	2,300.00	2,000.00	2,000.00
		1,424.00	2,329.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 貸室使用者数	人	2,500.00	2,500.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
		3,024.00	3,173.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	必要最小限の経費と人員で運営している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	一定の利用者確保と情報発信により市民文化向上に寄与している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	必要最小限の経費と人員で一定の利用者確保を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	文化芸術の一拠点としての役割を担っている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	多様な広報手段による情報発信を推進すること、近隣の文化施設等と協働して回遊性を高めること、児童生徒や学生等の学びの場としての活用などにより、当館の一層の周知と来館者増に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	2年後の令和7年に開館30周年と三橋節子没後50年を迎えることを契機として、あらゆる機会を捉え、広報宣伝や回遊性向上に向けて取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1126 市民部長等創作展示館
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00771 長等創作展示館維持管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)企画展等開催数	回	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	展示室での企画展開催数						
(活動)貸室使用件数	件	120.00	150.00	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00
	指標説明	創作スペースの使用件数						
(成果)入館者数	人	2,000.00	2,000.00	1,800.00	2,000.00	2,300.00	2,000.00	2,000.00
	指標説明	美術館への入館者数						
(成果)貸室使用者数	人	2,500.00	2,500.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
	指標説明	創作スペースの貸室使用者数						

事務事業評価シート（1/2）

100 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0034
 評価年度 令和 4年度
 所属 8821
 事務事業番号 00775

進捗区分 評価完了
 市民部仰木太鼓会館
 仰木太鼓会館管理運営事業

所属長名 徳野 有仁
 記入者 徳野 有仁

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020	文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001	文化・芸術の振興				
事務事業	009	仰木太鼓会館管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市仰木太鼓会館条例					
事業概要	(事業概要) 仰木太鼓会館は、大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図り、地域の歴史および文化の理解を深める場として設置されたもので、仰木太鼓の練習等に活用されるよう施設の適正な管理を行っている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 時代の変遷により若者達から太鼓離れの様子が見られるなか、市指定無形民俗文化財である仰木太鼓を市の文化財として保存継承すべきとの気運が高い。 (見直しや改善等の経過) 仰木太鼓保存会に関する利用を優先しつつ、住民の福祉向上に寄与する利用など、会館利用の広報活動を行い、利用率の向上に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図る場を提供するために
手段(どのようなやり方で)	施設の適正な管理等、仰木太鼓の練習等のための場所を提供することで
成果(どのような状態にするのか)	大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓が継承されるとともに、仰木地域の歴史及び文化への理解が深まり、市民文化が向上する

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,097	4,385	5,484	4,358	4,358	4,358	4,358
事業費	2,277	2,595	3,694	2,568	2,568	2,568	2,568
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	54	126	70	70	70	70	70
一般財源	2,223	2,469	3,624	2,498	2,498	2,498	2,498
人件費計	1,820	1,790	1,790	1,790	1,790	1,790	1,790
事務・技術(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0034
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 8821 市民部仰木太鼓会館
 事務事業番号 00775 仰木太鼓会館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-20-00	仰木太鼓会館管理運営事業費	市民部仰木太鼓会館

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 施設利用件数	件	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		109.00	142.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 施設利用人数	人	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00
		2,914.00	4,855.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 年間利用件数率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		54.50	71.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 年間利用人数率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		41.62	69.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	郷土文化を伝承する仰木太鼓保存会が当館を管理するは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	保存会の活動により住民集会等利用拡大と交流促進が図られている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	保存会が仰木太鼓の保存と伝承において経験と知識を有している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域文化の拠点、地域住民のふれあいの場として機能している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を推進するため、仰木太鼓保存会との連携を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により近年十分活動ができなかった地域行事等についても、本年5月に感染症5類に移行したことにより、今後従来通りの地域活動が実施されると見込まれることから、改めて地域での利用促進に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	伝統文化の継承を担う仰木太鼓保存会との協力体制を継続し、地域住民の多様なニーズに応じた利用促進に努め、仰木太鼓に触れる機会を提供されるよう、施設の管理運営に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
所属 8821 市民部仰木太鼓会館
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00775 仰木太鼓会館管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)施設利用件数	件	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	指標説明	109.00 142.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 年間利用件数(実績)						
(活動)施設利用人数	人	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00
	指標説明	2,914.00 4,855.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 年間利用人数(実績)						
(成果)年間利用件数率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	54.50 71.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 年間利用件数(実績)÷年間利用件数(目標)×100						
(成果)年間利用人数率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	41.62 69.35 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 年間利用人数(実績)÷年間利用人数(目標)×100						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0035
 評価年度 令和 4年度
 所属 2406
 事務事業番号 00796

進捗区分 所属評価
 市民部文化財保護課
 市内史跡等整備事業

所属長名 二ノ宮尚樹
 記入者 福田敬

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017	歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	001	歴史・文化遺産の保全				
事務事業	005	市内史跡等整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	文化財保護法					
事業概要	(事業概要) 市内に残された史跡を公有化し、保存する。また、史跡公園として整備し、一般に公開することにより、市民の史跡に対する理解を深め、地域のまちづくり等にも活用する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 本市には多くの国指定史跡があり、保存のため公有化が必要な面積も大きい。また、指定に至っていない重要な土地も残されており、発掘調査の結果、所有者の同意を得て、追加指定を進めていく。 (見直しや改善等の経過) 限られた予算の範囲内で、優先順位をつけて公有化を進めている。 市街化区域ですでに宅地化されているところもあり、計画的に公有化を進めていく必要がある。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に残された史跡等を対象に
目的(何のために)	市内に残された史跡等を良好な形で守り伝えていくため
手段(どのようなやり方で)	土地の公有化と整備を進めることで
成果(どのような状態にするのか)	史跡等を適切に保存し、次世代へ継承していく。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	48,313	60,350	59,502	136,049	121,922	121,922	121,922
事業費	43,398	54,585	53,737	130,284	116,157	116,157	116,157
国庫支出金	34,543	43,564	41,047	104,002	89,749	89,749	89,749
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,855	11,021	12,690	26,282	26,408	26,408	26,408
人件費計	4,915	5,765	5,765	5,765	5,765	5,765	5,765
事務・技術(人)	0.45	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
会計年度任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0035
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 2406 市民部文化財保護課
 事務事業番号 00796 市内史跡等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-50-57-00-04-00	市内史跡等整備事業費	市民部文化財保護課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)整備用地の公有化(史跡全体対象)	㎡	700.00	700.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00
		891.00	733.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)整備用地公有化進捗率(史跡全体対象)	%	60.00	61.00	62.00	63.00	64.00	65.00	66.00
		60.80	61.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	国指定史跡の公有化は、史跡を適切に保存し、後世へ継承できる		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	継続的に国指定史跡の公有化が進められている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	土地所有者との交渉を進め、計画的に公有化を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	史跡等を適切に保存し、次世代へ継承していく		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	計画的に公有化を図り、できるだけ早く史跡公園としての整備に着手できるよう努める。 また、公有化で一定のまとまりが確保できた土地については、情報発信や部分整備など活用方法を検討し、整備計画の策定にも努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	市内に残された史跡等を適切に保存し、良好な形で次世代へ継承していくため、計画的に公有化を図ること。 また、史跡の歴史的価値を発信し、地域振興や観光などに活用していくため、史跡公園等の整備についても検討していくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
所属 2406 市民部文化財保護課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00796 市内史跡等整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)整備用地の公有化(史跡全体対象)	m ²	700.00	700.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00
	指標説明	当該年度の公有化予定地全体の公有化（R2年度から公有化対象史跡全体に変更）						
(成果)整備用地公有化進捗率（史跡全体対象）	%	60.00	61.00	62.00	63.00	64.00	65.00	66.00
	指標説明	史跡全体に占める公有化率（R2年度から全体対象史跡面積89,902.71m ² に変更）						

事務事業評価シート（1/2）

106 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0036
 評価年度 令和 4年度
 所属 2482
 事務事業番号 00798

進捗区分 所属評価
 市民部埋蔵文化財調査センター
 埋蔵文化財調査センター管理運営事業

所属長名 北川 均
 記入者 北川 均

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017	歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	002	歴史・文化遺産の情報発信				
事務事業	005	埋蔵文化財調査センター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財調査センター条例					
事業概要	(事業概要) 文化財保護法の規定に基づき、市内で発掘調査により出土した埋蔵文化財を適切に保管するとともに、市民の埋蔵文化財への関心を高め、理解を深めるため、各種講座、現地見学会や展覧会を開催する。 施設の老朽化により、令和4年度は空調設備及び照明等のLED化工事を実施した。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 宅地開発等に伴い埋蔵文化財発掘調査を実施しているが、出土品は増え続けており、現地調査後の早急な整理と報告書の刊行、公開、資料の適切な収蔵・保管が求められている。 発掘調査の出土品は、当館だけでなく、市内小中学校の空き教室などにも収蔵している。 (見直しや改善等の経過) 多くの市民に当館事業を知ってもらうため、催し物案内や広報おおつ等で周知に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	埋蔵文化財及び市民を対象に
目的(何のために)	埋蔵文化財の適切な保管とともに、埋蔵文化財への理解を深めるために
手段(どのようなやり方で)	埋蔵文化財を適切に整理・収蔵するとともに、各種講座、現地見学会や展覧会を開催し
成果(どのような状態にするのか)	多くの市民が当館を訪れて、埋蔵文化財への関心を高め、理解を深める。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	23,124	52,992	22,832	21,331	48,597	19,811	19,874
事業費	5,469	32,197	7,497	6,926	34,192	5,406	5,469
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	152	102	1,085	390	390	390	390
一般財源	5,317	32,095	6,412	6,536	33,802	5,016	5,079
人件費計	17,655	20,795	15,335	14,405	14,405	14,405	14,405
事務・技術(人)	1.20	1.20	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.40	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	1.85	1.85	1.85	1.55	1.55	1.55	1.55
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

107 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0036
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 2482 市民部埋蔵文化財調査センター
 事務事業番号 00798 埋蔵文化財調査センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-50-57-00-06-00	埋蔵文化財調査センター管理運営事業費	市民部文化財保護課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)各種講座・展示会等の開催件数	件	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
		16.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加・利用者数	人	1,800.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00
		1,151.00	1,839.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)発掘調査報告書発刊数	冊	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		8.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	埋蔵文化財発掘調査の出土品を適切に保管できるよう努める。 発掘調査後の迅速な整理、報告や公開を継続し、歴史・文化の学習機会の充実を図り、出前講座、関係施設などへのイベント参加を含め積極的に取り組むことで、多くの市民に文化財への理解を深めてもらう。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	より多くの市民が当センターを訪れて、埋蔵文化財への関心を高め、自分達が住んでいる地域への誇りと愛着が持てるよう理解を深める機会の拡充に努めること。なお、出土品については不足している保管場所について検討をすること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
所属 2482 市民部埋蔵文化財調査センター
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00798 埋蔵文化財調査センター管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)各種講座・展覧会等の開催件数	件	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
	指標説明	最新の調査成果の発表						
(成果)参加・利用者数	人	1,800.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00
	指標説明	16.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)発掘調査報告書発刊数	冊	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
	指標説明	1,151.00	1,839.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0037
 評価年度 令和 4年度
 所属 2405
 事務事業番号 00840

進捗区分 評価完了
 市民部スポーツ課
 社会体育施設管理運営事業

所属長名 松田 直樹
 記入者 森本 和也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019	スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001	生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	004	社会体育施設管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	スポーツ基本法					
事業概要	(事業概要)市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るため、市民プール・市民運動広場・市民体育館・格技場・乗馬場・キャンプ場・ランニングコース・オリエンテーリングコースを設置している。また地域でのスポーツ振興を図るため、市立小学校36校の体育館と運動場、市立中学校10校の体育館を学校教育の支障のない範囲で開放している。学校開放の運営にあたっては、各学校に「学校体育施設開放運営委員会」を設置し管理運営を委託している。【令和4年度より事務事業番号839、845を統合】					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境)老朽した施設が増える中、市の財政状況や公共施設マネジメント等を考慮し、利用者が安全安心に利用できるよう計画的な維持管理が求められている。また、学校体育施設は地域の身近な体育施設として幅広い年代の市民から利用されており、スポ少等の地域団体だけではなくクラブチーム等の参加も増えている。 (見直しや改善等の経過)社会体育施設の計画的な保全を図るため、令和4年度に長寿命化計画（市民体育館）を策定した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会体育施設の管理運営を対象に
目的(何のために)	市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るために
手段(どのようなやり方で)	指定管理等施設に応じた最適な管理運営手法をとることで
成果(どのような状態にするのか)	市民が日常的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができ、運動・スポーツ実施率の向上が図られ、健康の保持増進に貢献する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	202,935	239,858	238,513	241,116	241,116	241,116	241,116
事業費	192,295	218,808	219,077	221,680	221,680	221,680	221,680
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	48,876	56,183	48,072	48,072	48,072	48,072	48,072
一般財源	143,419	162,625	171,005	173,608	173,608	173,608	173,608
人件費計	10,640	21,050	19,436	19,436	19,436	19,436	19,436
事務・技術(人)	1.33	2.50	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.50	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

110 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0037
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2405 市民部スポーツ課
 事務事業番号 00840 社会体育施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-21-00-01-00	スポーツ施設管理運営費	市民部スポーツ課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 市民運動広場等の数	施設	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		36.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 小・中学校開放校	校	0.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
		0.00	46.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 市民運動広場等の利用人数	人	340,000.00	384,000.00	384,000.00	384,000.00	384,000.00	384,000.00	384,000.00
		314,544.00	344,359.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 学校体育施設運営業務の利用者数	人	0.00	816,000.00	816,000.00	816,000.00	816,000.00	816,000.00	816,000.00
		0.00	657,242.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	社会体育施設を市民のスポーツ活動に提供するのは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	市民の身近なスポーツ等の実施機会向上に寄与している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	指定管理者等に委託し、実情に合った効率的な運営がされている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルスの感染状況が一定減少傾向となったことや、国、滋賀県の感染者取扱い方針が変更されたことなどをを受け、国内全体の移動、感染予防策については緩和の方向に向かった。 このことから本市社会体育施設においても、対前年度を上回る利用状況となり、市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興及び健康増進を図ることができた。 今後も引き続き、利用者のニーズを踏まえつつ、計画的な施設の維持管理業務に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	社会体育施設については、施設の状況を踏まえ、計画的な修繕や工事に努め、より安全に利用できる環境を整えるとともに生涯スポーツの普及を進めていくこと。また、指定管理者制度導入施設においては、指定管理者との連携を強化のうえ、利用者ニーズの把握に努め、利用者拡大、サービス向上に引き続き取り組むこと。		

事務事業評価シート（1/2）

112 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0038
 評価年度 令和 4年度
 所属 2405
 事務事業番号 04181

進捗区分 評価完了
 市民部スポーツ課
 生涯スポーツ推進費

所属長名 松田 直樹
 記入者 土井 淳嗣

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします
施策	019	スポーツの普及・振興
取組の方向性	001	生涯スポーツの普及・振興
事務事業	008	生涯スポーツ推進費

新規継続区分	新規			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	

根拠法令等 スポーツ基本法、大津市スポーツ推進委員に関する規則

事業概要
 市民が、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができるよう、地域でのスポーツ指導やスポーツイベントの中心的な存在（コーディネーター）として活動する「大津市スポーツ推進委員」の育成を行うなど、地域や市民の運動・スポーツ活動に対する支援を行っている。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
 （事業を取りまく社会環境）
 新型コロナウイルス感染症により停止していた運動・スポーツ活動が少しずつ再開され始めており、国スポ・障スポや国際大会等の大規模な大会が今後市内で予定されていることから、市民のスポーツに対する機運の醸成が必要となっている。
 （見直しや改善等の経過）
 スポーツ推進委員は、各学区の体育団体のみならず、大学や各種スポーツ団体等の推薦に加え、一般市民からの公募を行うなど、幅広い分野から参画をいただいている。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	年齢や性別、障害の有無に関わらず、一生涯を通して、運動・スポーツ活動を行えるように
手段(どのようなやり方で)	地域スポーツの中核的な役割を担う「スポーツ推進委員」の育成や指導者向けの研修を行うなど、地域や市民の運動・スポーツ活動の支援を充実させることで
成果(どのような状態にするのか)	「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しめる環境をつくる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	9,189	9,440	9,414	9,366	9,376	9,365
事業費	0	6,459	6,710	6,684	6,636	6,646	6,635
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	6,459	6,710	6,684	6,636	6,646	6,635
人件費計	0	2,730	2,730	2,730	2,730	2,730	2,730
事務・技術(人)	0.00	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

113 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0038
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2405 市民部スポーツ課
 事務事業番号 04181 生涯スポーツ推進費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)スポーツ推進委員 人数	人	0.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
		0.00	46.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業 実施回数	回	0.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		0.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業 参加者数	人	0.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		0.00	3,314.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)指導者研修会参加者数	人	0.00	105.00	110.00	115.00	120.00	120.00	120.00
		0.00	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価項目		評価の観点				基準				評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である				A					
			B	ほぼ妥当である									
C	あまり妥当ではない												
D	妥当ではない												
評価理由		スポーツ推進委員はスポーツ基本法の規定により市が委嘱している											
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている				A					
			B	やや上がっている									
C	あまり上がっていない												
D	上がっていない												
評価理由		スポーツ推進委員の活動等が生涯スポーツの推進につながる											
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である				A					
			B	やや効率的である									
C	あまり効率的でない												
D	効率的でない												
評価理由		定期的に研修等を実施することは効率的である											
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している				A					
			B	やや貢献している									
C	あまり貢献していない												
D	貢献していない												
評価理由		地域・大学・行政と連携し、地域のスポーツ振興に貢献している											
評価理由													

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	市民が、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができる環境をつくるためには、地域におけるスポーツ推進委員の活動は不可欠であり、今後より一層地域における生涯スポーツを推進するため、スポーツ推進委員の資質向上に向けた指導者研修会の開催や、市民が体を動かすきっかけ作りに繋がる自主事業を拡充できるよう支援していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生涯スポーツ活動を推進するうえで、市民への実技指導や助言を行うスポーツ推進委員の活動は非常に重要な役割を担っている。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、運動・スポーツ活動についても本格的に再開されるため、スポーツ推進委員と連携を図り、市民の生涯スポーツに係る事業を推進していくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2405 市民部スポーツ課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 04181 生涯スポーツ推進費

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)スポーツ推進委員 人数	人	0.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
	指標説明	0.00 46.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 大津市スポーツ推進委員の人数						
(活動)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業 実施回数	回	0.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	0.00 13.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 スポーツ推進委員協議会主催事業及びスポーツ推進委員が運営の主体として開催する主管事業の実施延べ回数						
(成果)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業 参加者数	人	0.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	指標説明	0.00 3,314.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 スポーツ推進委員協議会主催事業及びスポーツ推進委員が運営の主体として開催する主管事業の参加者延べ人数						
(成果)指導者研修会参加者数	人	0.00	105.00	110.00	115.00	120.00	120.00	120.00
	指標説明	0.00 79.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 スポーツ推進委員等の資質向上が図れる研修会への参加延べ人数						

事務事業評価シート（1/2）

115 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0039
 評価年度 令和 4年度
 所属 2405
 事務事業番号 04182

進捗区分 評価完了
 市民部スポーツ課
 次世代のスポーツ推進費

所属長名 松田 直樹
 記入者 土井 淳嗣

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019	スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001	生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	009	次世代のスポーツ推進費				
新規継続区分	新規					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	スポーツ基本法					
事業概要	幼児期の子どもについて、遊びなどを通じた体力・運動能力の基礎づくりや、運動の楽しさを知る機会の提供を支援するとともに、小中学校の子どもたちのスポーツ環境充実を図ることにより、子どもがスポーツを楽しみ、たくましく成長できるよう、子どもたちの運動・スポーツ活動への支援を充実させる。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） スマートフォンの普及等により、テレビやゲーム、スマートフォンなどの画面を見る「スクリーンタイム」の増加が指摘されており、子どもたちの運動離れが急速に進んでいる。 （見直しや改善等の経過） 幼児期から楽しく体を動かす機会づくりや、ICTの活用等による時代に即した新たな運動・スポーツの取組みを行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子どもを対象に
目的(何のために)	大人になっても継続的に運動を続けることができるように
手段(どのようなやり方で)	幼少期における遊びを通じた運動の機会の創出や、時代に即した新たな運動・スポーツの取組みを充実させること
成果(どのような状態にするのか)	スポーツを楽しみ、たくましく成長できる環境を創出する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	6,592	6,746	7,030	7,030	9,921	9,121
事業費	0	4,018	4,406	4,690	4,690	7,581	6,781
国庫支出金	0	1,038	2,405	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	2,980	2,001	4,690	4,690	7,581	6,781
人件費計	0	2,574	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340
事務・技術(人)	0.00	0.33	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0039
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2405 市民部スポーツ課
 事務事業番号 04182 次世代のスポーツ推進費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

【定量評価】								上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
(活動) 幼少期運動プログラム 実施回数	回	0.00	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 幼少期運動プログラム 満足度	%	0.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) スポーツデータリテラシー向上プログラム 実施クラス数	クラス	0.00	10.00	10.00	10.00	20.00	20.00	20.00	
		0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) スポーツデータリテラシー向上プログラム 満足度	%	0.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	
		0.00	71.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】		評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
C	あまり妥当ではない				
D	妥当ではない				
評価理由		専門的な知見を有する事業者への委託は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
C	あまり上がっていない				
D	上がっていない				
評価理由		子どもがスポーツを楽しめる環境の構築に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
C	あまり効率的でない				
D	効率的でない				
評価理由		効率的であるが、事業を拡大する場合は手法の見直しが必要			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
C	あまり貢献していない				
D	貢献していない				
評価理由		子どもの運動・スポーツ活動の推進に寄与している			
評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	近年、子どものスマートフォンの所有率増加や地域で遊べる場所が減少するなど、子どもの運動離れが急速に進んでいる。子どもの頃から、運動・スポーツに楽しく接することが、大人になっても運動を続ける動機付けに繋がることから、幼少期における運動遊びや、時代の変化に合わせた運動環境の整備を行うことが非常に重要であるため、引き続き、子どもの運動・スポーツ活動への支援充実に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の健康維持・向上を図るには、子どもの頃から運動・スポーツの楽しさを感じ、運動習慣を身に付けることが非常に重要である。引き続き、学校や地域と連携し、子どもの運動の機会づくりに取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2405 市民部スポーツ課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 04182 次世代のスポーツ推進費

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 幼少期運動プログラム 実施回数	回	0.00	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	幼少期運動プログラムの実施回数 1日に複数回実施した場合は、各回を計上する。						
(成果) 幼少期運動プログラム 満足度	%	0.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
	指標説明	幼少期運動プログラムの参加者数 参加者アンケートの結果を反映						
(活動) スポーツデータリテラシー向上プログラム 実施クラス数	クラス	0.00	10.00	10.00	10.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	スポーツデータリテラシー向上プログラムの実施クラス数						
(成果) スポーツデータリテラシー向上プログラム 満足度	%	0.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
	指標説明	スポーツデータリテラシー向上プログラムの満足度 参加者アンケートの結果を反映						

事務事業評価シート（1/2）

118 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0040
 評価年度 令和 4年度
 所属 2405
 事務事業番号 04183

進捗区分 評価完了
 市民部スポーツ課
 地域スポーツ活動推進費

所属長名 松田 直樹
 記入者 土井 淳嗣

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019	スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001	生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	010	地域スポーツ活動推進費				
新規継続区分	新規					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	スポーツ基本法					
事業概要	地域のスポーツ団体のスポーツ活動を支援するとともに、各種競技スポーツの活性化を図ることで、生涯スポーツや競技スポーツに取り組む人や団体が、スポーツにより取り組めるよう、地域でのスポーツ活動の支援を充実させる。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの大会や事業の開催が困難となった中、市民ニーズや地域の実情に応じたスポーツ施策の展開が求められている。 （見直しや改善等の経過） 大津市補助金制度適正化基本方針に則った補助金の見直し及び大津市スポーツ協会への委託事業を共催化し、負担金事業への移行などを行った。また、激励金交付要綱の定期的な見直しや、SNS等を活用した周知PRを行うなど、時代に即したかたちで事業を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	生涯スポーツや競技スポーツに取り組む人や団体を対象に
目的(何のために)	地域でのスポーツ事業の活性化や競技力向上及び競技者の拡大を図るために
手段(どのようなやり方で)	地域のスポーツ団体への補助金交付や事業の共催、大会出場者への激励金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	スポーツにより取り組むことができる支援の充実を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	40,732	27,562	28,255	28,574	30,245	30,105
事業費	0	38,161	24,835	25,528	25,847	27,518	27,378
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	600	0	0	0	0
一般財源	0	38,161	24,235	25,528	25,847	27,518	27,378
人件費計	0	2,571	2,727	2,727	2,727	2,727	2,727
事務・技術(人)	0.00	0.27	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0040
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2405 市民部スポーツ課
 事務事業番号 04183 地域スポーツ活動推進費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)補助金交付対象団体 団体数	団体	0.00	38.00	38.00	39.00	39.00	39.00	39.00
		0.00	37.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)補助金交付対象団体 主催事業数	事業	0.00	250.00	288.00	288.00	288.00	288.00	288.00
		0.00	244.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)激励金 交付件数	件	0.00	100.00	105.00	110.00	115.00	110.00	110.00
		0.00	91.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大津市スポーツ賞 表彰者数	人(団体)	0.00	20.00	25.00	28.00	32.00	28.00	28.00
		0.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価項目		評価の観点				基準				評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である				A 妥当である B ほぼ妥当である C あまり妥当ではない D 妥当ではない				A	
			B	ほぼ妥当である									
C	あまり妥当ではない												
D	妥当ではない												
評価理由		地域スポーツ団体や全国大会等の出場者への補助金等交付は妥当											
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている				A 上がっている B やや上がっている C あまり上がっていない D 上がっていない				B	
			B	やや上がっている									
C	あまり上がっていない												
D	上がっていない												
評価理由		感染症の影響により、一部の活動が縮小・中止となった											
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である				A 効率的である B やや効率的である C あまり効率的でない D 効率的でない				A	
			B	やや効率的である									
C	あまり効率的でない												
D	効率的でない												
評価理由		団体への補助や競技者への激励金交付・表彰は効率的である											
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している				A 貢献している B やや貢献している C あまり貢献していない D 貢献していない				A	
			B	やや貢献している									
C	あまり貢献していない												
D	貢献していない												
評価理由		地域スポーツの活性化が生涯スポーツと競技スポーツ推進に繋がる											
評価理由													

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々な活動が再開され始めるため、各団体の予算規模及び地域住民等のニーズに合わせて、スポーツ活動を再開できるよう支援し、生涯スポーツの推進に努めていく。また、令和7年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等の開催を見据え、選手強化支援施策の一つとして、激励金の交付や優秀成績者の表彰を継続的に実施していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	学区体育団体等をはじめとした地域スポーツ活動の中心的役割を担う各種団体等に対し、継続的な支援を行い、市民のスポーツ活動の活性化に取り組むこと。また、激励金交付やスポーツ賞等の表彰を通して、選手の競技力向上や市民のスポーツへの機運醸成を図ること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
所属 2405 市民部スポーツ課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 04183 地域スポーツ活動推進費

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)補助金交付対象 団体 団体数	団体	0.00	38.00	38.00	39.00	39.00	39.00	39.00
	指標説明	0.00	37.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市内36学区体育団体、スポーツ協会、レクリエーション協会、学区体育団体連絡協議会 (スポーツ少年団への補助金交付は別の事務事業で実施しているため計上しない)						
(成果)補助金交付対象 団体 主催事業数	事業	0.00	250.00	288.00	288.00	288.00	288.00	288.00
	指標説明	0.00	244.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市内36学区体育団体、スポーツ協会、レクリエーション協会、学区体育団体連絡協議会の主催事業数 (スポーツ少年団への補助金交付は別の事務事業で実施しているため計上しない)						
(活動)激励金 交付件 数	件	0.00	100.00	105.00	110.00	115.00	110.00	110.00
	指標説明	0.00	91.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		激励金を交付した件数						
(成果)大津市スポーツ 賞 表彰者数	人(団体)	0.00	20.00	25.00	28.00	32.00	28.00	28.00
	指標説明	0.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		大津市スポーツ賞、大津市スポーツ奨励賞、大津市スポーツ特別賞の表彰者数 (個人数と団体数の合算)						

事務事業評価シート（1/2）

121 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0041
 評価年度 令和 4年度
 所属 2405
 事務事業番号 04185

進捗区分 評価完了
 市民部スポーツ課
 大津の特長を活かしたスポーツ推進費

所属長名 松田 直樹
 記入者 土井 淳嗣

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019	スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001	生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	012	大津の特長を活かしたスポーツ推進費				
新規継続区分	新規					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	スポーツ基本法					
事業概要	大津市の自然・歴史環境や、地域、大学、企業による特色あるスポーツ活動を活かした大津らしいスポーツの推進を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 2019ラグビーワールドカップ、東京2020オリ・パラ等の開催により、市民のスポーツに対する関心、機運は高まりつつあったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業の推進に制限がある。 （見直しや改善等の経過） eスポーツ関連事業について、eスポーツだけでなくリアルスポーツと関連付けたイベントへの見直しを行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各種団体や市民、本市で開催する大会の参加者を対象に
目的(何のために)	スポーツイベント等の誘致や、様々なスポーツ大会の機運を高めるために
手段(どのようなやり方で)	団体への負担金や補助金の交付、市民等へのスポーツ大会の啓発イベントを実施することで
成果(どのような状態にするのか)	本市の自然・歴史環境や、地域、大学、企業などの価値あるスポーツ資源を活かした、スポーツによる地域の活性化を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	9,833	7,225	7,323	6,725	13,627	20,657
事業費	0	3,983	3,169	3,267	3,059	4,267	14,417
国庫支出金	0	2,154	750	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	800	0	0	0	0
一般財源	0	1,829	1,619	3,267	3,059	4,267	14,417
人件費計	0	5,850	4,056	4,056	3,666	9,360	6,240
事務・技術(人)	0.00	0.75	0.52	0.52	0.47	1.20	0.80
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

122 頁
令和 5 年 9 月 5 日

整理番号 0041
 評価年度 令和 4 年度 進捗区分 評価完了
 所属 2405 市民部スポーツ課
 事務事業番号 04185 大津の特長を活かしたスポーツ推進費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

【定量評価】

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	上段：目標値 下段：実績値	
							令和 8 年度	令和 9 年度
(活動) 地域等と連携した大規模スポーツイベント 件数	件	0.00	1.00	1.00	1.00	3.00	2.00	3.00
(活動) 地域等と連携した大規模スポーツイベント 参加者数	人	0.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	21,000.00	10,000.00	14,000.00
(活動) 負担金、補助金等交付イベント 件数	件	0.00	3.00	3.00	3.00	2.00	2.00	3.00
(活動) 負担金、補助金等交付イベント 参加者数	人	0.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,000.00	2,000.00	6,000.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由 各種団体への負担金の交付は妥当である	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由 有効であるが、一部事業は見直しが必要である	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由 各種団体への負担金交付による事業の実施は効率的である	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由 各種イベントの実施が地域の活性化に効果的である	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本市の特長を活かしたスポーツイベントを開催し、市民のスポーツに対する機運醸成を図るとともに、大津市の知名度向上や、まちの賑わいづくりに寄与することに、引き続き努めていく。一方で、新型コロナウイルス感染症による様々な制限の中で実施してきた事業については、これまでの成果を踏まえて、一定の見直しも行っていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域や大学、企業等と連携し、まちの賑わいづくりに繋がるような、本市の特長を活かした事業を引き続き検討するとともに、事業の効果等を精査し、随時見直しを行っていくこと。また令和7年度の国スポ・障スポ大会の開催に合わせ、関係課や関係機関等と連携し、スポーツへの機運の醸成に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2405 市民部スポーツ課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 04185 大津の特長を活かしたスポーツ推進費

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)地域等と連携した大規模スポーツイベント 件数	件	0.00 0.00	1.00 3.00	1.00 0.00	1.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	朝日レガッタ、びわ湖マラソン大会などの件数						
(成果)地域等と連携した大規模スポーツイベント 参加者数	人	0.00 0.00	5,000.00 7,387.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	21,000.00 0.00	10,000.00 0.00	14,000.00 0.00
	指標説明	朝日レガッタ、びわ湖マラソン大会などの参加者数 (観客、大会関係者は含まない)						
(活動)負担金、補助金等交付イベント 件数	件	0.00 0.00	3.00 4.00	3.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	交付している大会件数						
(成果)負担金、補助金等交付イベント 参加者数	人	0.00 0.00	2,500.00 3,676.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	6,000.00 0.00
	指標説明	交付大会への参加者数						

事務事業評価シート（1/2）

124 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0042
 評価年度 令和 4年度
 所属 1115
 事務事業番号 01208

進捗区分 評価完了
 市民部戸籍住民課
 大津市営霊園管理運営事業

所属長名 乾 一彦
 記入者 辻尾 大樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	034	公共施設マネジメントの推進				
取組の方向性	001	公共施設等の適正化				
事務事業	004	大津市営霊園管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市営霊園条例及び同施行規則				
事業概要	(事業概要) 平成6年4月に市営霊園を開設し、平成19年10月に全ての区画(967区画)の使用者が決定した。現在は維持管理及び返還に伴う空き区画の募集を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 当霊園は市内唯一の市営墓地である。近年の墓地に対する市民意識は多様化していることから、墓じまい等による年間数か所の空き区画が発生するが、再募集時には多数の申込みがあり、需要は高い。 (見直しや改善等の経過) 墓地返還に伴う再募集については、平成30年度までは年1回としていたが、平成31年度は年2回、令和2年度は年3回、令和3、4年度は年2回実施し、空き区画数の状況により、募集回数の見直しを行ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	市内の墓地需要に対応するため
手段(どのようなやり方で)	1 使用者の公募(戸籍住民課及び市ホームページで募集要領の配布) 2 維持管理(年間:除草2回、清掃10回、噴水清掃9回、剪定1回)施設修繕
成果(どのような状態にするのか)	空き区画の募集に伴う全区画利用、定期的な清掃、及び老朽化による施設の修繕により安心して快適な施設の維持管理が図られている。

【コスト】 (単位:千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,373	12,146	9,664	18,364	10,894	10,894	10,894
事業費	5,449	8,876	4,984	13,684	6,214	6,214	6,214
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,449	6,923	4,984	4,984	4,984	4,984	4,984
一般財源	0	1,953	0	8,700	1,230	1,230	1,230
人件費計	4,924	3,270	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680
事務・技術(人)	0.60	0.30	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.04	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

125 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0042
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1115 市民部戸籍住民課
 事務事業番号 01208 大津市営霊園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-44-00-01-00	大津市営霊園等管理運営事業費	市民部戸籍住民課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)維持管理回数	回	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00
		22.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)募集回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)使用許可率 年度別（9月末現在）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		66.00	57.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)使用率 年間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		98.00	98.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	適切な施設の維持管理に努めるとともに、空き区画の再募集にあたっては、市ホームページだけではなく石材店にもPRを依頼し申込みに繋げていく。また、今後予想される経年劣化に伴う施設改修についても、コストを意識した計画的な施設管理を行っていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	施設の適正な管理運営を続けるとともに、多様化する墓地ニーズの把握に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1115 市民部戸籍住民課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01208 大津市営霊園管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)維持管理回数	回	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00
	指標説明	22.00 22.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 除草2回、清掃10回、噴水清掃9回、剪定1回						
(活動)募集回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	2.00 2.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 返還に伴う募集(年1回)						
(成果)使用許可率 年度別(9月末現在)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	66.00 57.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 使用許可件数/募集数						
(成果)使用率 年間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	98.00 98.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 使用区画数/全区画数						

事務事業評価シート（1/2）

127 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0043
評価年度 令和 4年度
所属 1113
事務事業番号 00308

進捗区分 評価完了
市民部消費生活センター
消費者啓発事業

所属長名 吉田 美紀
記入者 龍池 香織

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022	防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	003	消費者トラブルへの対応				
事務事業	001	消費者啓発事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	消費者基本法、消費者安全法、消費者教育の推進に関する法律等					
事業概要	<p>(事業概要) 超高齢化社会、高度情報通信社会の中にあって、消費者が主体的かつ合理的に行動できるよう、消費者の自立を支援するため、消費生活に関する知識の普及や情報の提供等、啓発活動の充実を図るとともに、さまざまな場における消費者教育を推進していく。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 情報通信技術の進展とともに商品流通形態が変容する中、市民が消費者被害に遭わないよう安全を確保するため、さらなる注意喚起と啓発に努める必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過) 県交付金の活用とともに、関係機関との共催により、消費生活に関する知識の普及や情報提供に資するための啓発活動の充実を図るとともに、学校や職域における消費者教育の推進に努めた。また、成年年齢18歳引下げを踏まえ、高校における消費者教育を充実させるため、県との役割を整理した上で、有識者による講座を試行的に実施した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	市民の消費生活の安定と向上のために
手段(どのようなやり方で)	消費生活に関する知識の普及や情報提供に資するため、各種講座の開催や情報発信等の啓発活動の充実を図るとともに、学校や職域等における消費者教育の推進に係る事業を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	消費者の自立を支援することにより、市民の消費生活の安定と向上を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,523	4,352	4,523	4,523	4,523	4,523	4,523
事業費	1,535	1,736	1,907	1,907	1,907	1,907	1,907
国庫支出金	0	0	128	0	0	0	0
県支出金	188	291	848	784	784	784	784
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,347	1,445	931	1,123	1,123	1,123	1,123
人件費計	2,988	2,616	2,616	2,616	2,616	2,616	2,616
事務・技術(人)	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.12	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

128 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0043
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1113 市民部消費生活センター
 事務事業番号 00308 消費者啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-78-50-00-03-00	消費者啓発事業費	市民部消費生活センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)消費生活講座及び出前講座等の回数	回	36.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		11.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)消費生活講座及び出前講座等の参加人数	人	1,160.00	600.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00
		707.00	2,757.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	消費者安全法及び消費者教育の推進に関する法律に基づくため。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	消費生活講座の回数や参加人数の実績が目標値を上回ったため。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	各種団体や学校を通じて幅広い世代を対象に講座を実施したため。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	講座回数や参加人数が目標を達成し消費者意識の向上に努めたため			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	消費者トラブルの防止に向けて、関係団体等の協力も得ながら、講座や広報誌を通じた情報発信に努めていく。また、若年層に向けた取組として、学校における消費者教育講座の実施について、学校の理解を得ながら、継続的に行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢化社会、高度情報通信社会の中にあつて、市民が主体的かつ合理的な行動ができるよう、引き続き、消費生活に関する知識の普及等、消費者啓発活動に取り組むとともに、成年年齢引下げも踏まえ、学校及び職域における消費者教育についても継続的に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
所属 1113 市民部消費生活センター
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00308 消費者啓発事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)消費生活講座及び出前講座等の回数	回	36.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	11.00 20.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 主催講座4回・地域出前等4回 高校講座12回(市内県立高校12校)						
(成果)消費生活講座及び出前講座等の参加人数	人	1,160.00	600.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00
	指標説明	707.00 2,757.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 講100(25人×4回)・出100(25人×4回)・高校2000(一学年) 計2200人						

事務事業評価シート（1/2）

130 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0044
評価年度 令和 4年度
所属 1113
事務事業番号 02064

進捗区分 評価完了
市民部消費生活センター
消費生活相談事業

所属長名 吉田 美紀
記入者 龍池 香織

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022	防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	003	消費者トラブルへの対応				
事務事業	003	消費生活相談事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	消費者基本法、消費者安全法、消費生活条例、消費生活センター条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>社会経済環境の変化に伴い、複雑化、専門化する消費者問題に対応するため、消費者安全の確保に関し、事業者に対する消費者からの相談について、資格を有する消費生活相談員がその対応にあたる。消費生活相談員は、相談の内容に応じ、助言、情報提供、あっせん又は専門機関の紹介等を行う。相談内容に係る情報については、国のデータベースに登録され、国や県などの関係機関との連携のもと、消費者トラブルの未然防止や被害の拡大予防に役立てられる。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>情報通信技術の進展に伴い商品流通形態が変容する中、消費者からの相談内容は多様化・複雑化しているため、資格を有する消費生活相談員の対応が求められる。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>消費生活相談窓口の充実と市民サービス向上のため相談員の員数を維持するとともに、知識や技術の向上を図るための研修機会の充実に努めた。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	市民の消費生活の安定と向上のために
手段(どのようなやり方で)	消費生活相談窓口を開設し、事業者に対する消費者からの相談について、資格を有する消費生活相談員が対応し、助言、情報提供、あっせん等を行うことで(相談内容に係る情報を国のデータベースに登録)
成果(どのような状態にするのか)	消費者トラブルの未然防止や被害の拡大予防などにより、市民の消費生活の安定と向上を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,087	21,421	20,591	20,606	22,185	20,606	20,606
事業費	893	2,382	1,552	1,567	3,146	1,567	1,567
国庫支出金	0	0	60	0	0	0	0
県支出金	893	1,013	738	633	633	633	633
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	1,369	754	934	2,513	934	934
人件費計	19,194	19,039	19,039	19,039	19,039	19,039	19,039
事務・技術(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	5.84	5.89	5.89	5.89	5.89	5.89	5.89
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0044
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1113 市民部消費生活センター
 事務事業番号 02064 消費生活相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-78-50-00-04-00	消費生活相談事業費	市民部消費生活センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)相談件数	件	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
		2,498.00	2,738.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談に対する問題解決した割合	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		95.52	96.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	消費者基本法・安全法に基づき、消費者の安全確保に努めたため。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	消費生活相談に対し、助言、情報提供、あっせんを行ったため。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	有資格の消費生活相談員を配置し、弁護士の支援も受けたため。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	消費者トラブルの防止に向けて、丁寧な相談対応に努めたため。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	商品流通形態の変容により相談内容は多様化・複雑化しているため、国家資格を有する消費生活相談員を配置した相談窓口の体制を維持するとともに、弁護士による支援と各種研修などを通じて同相談員の資質向上に努め、相談対応機能の更なる充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	消費生活相談員を配置した相談体制を維持することはもとより、弁護士からの支援により相談対応の質を高めることのほか、庁内関係課や関係団体との連携を強化することで、より効果的な対応に努め相談体制の充実を図ること。		

事務事業評価シート（1/2）

133 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0045
 評価年度 令和 4年度
 所属 2451
 事務事業番号 00785

進捗区分 評価完了
 市民部歴史博物館
 博物館管理運営事業

所属長名 岸本 宏
 記入者 柳田 秀

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017	歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	002	歴史・文化遺産の情報発信				
事務事業	003	博物館管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	博物館法・大津市歴史博物館条例				
事業概要	(事業概要) 博物館の目的である各種資料の収集・保管・調査研究及び公開に係る諸事業を円滑に実施し、市民に快適な展示環境を提供することが管理運営事業の根幹である。そのため施設のメンテナンスやコンピュータの保守などを本事業で実施しているが、ここでの指標は、歳入面に係る常設展示の運営と、市民の文化活動の発表の場を提供する貸し館業務を挙げた。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 地域や個人で守られてきた文化財の継承が困難となり、当館への寄託・寄贈の案件も増えてきている。文化財を安全に収蔵するためにも、また来館者が快適に観覧するためにも施設の維持管理が重要である。 (見直しや改善等の経過) 施設の経年劣化を避けるためにも、計画的な修繕が必要であり、予算の許す範囲で手を尽くしている。令和4年度は、空調機器の修理や展示室のLED化に向けて設計業務を行った。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	博物館施設を
目的(何のために)	文化財が適切に収蔵・公開できる環境を整えるとともに、来館者に快適な環境で展示活動や鑑賞できる環境を整えるため
手段(どのようなやり方で)	資料の保存を図りながら、適切な管理運営や適宜修繕等を行い
成果(どのような状態にするのか)	来館者が安全かつ快適に鑑賞できるようにする。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		152,048	133,176	305,935	201,637	178,846	293,884	162,687
事業費		110,098	91,926	264,685	160,387	137,596	252,634	121,437
国庫支出金		2,538	0	0	27,127	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	146,800	4,800	0	0	0
その他		8,382	5,084	6,885	4,793	4,793	4,793	4,793
一般財源		99,178	86,842	111,000	123,667	132,803	247,841	116,644
人件費計		41,950	41,250	41,250	41,250	41,250	41,250	41,250
事務・技術(人)		3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

134 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0045
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2451 市民部歴史博物館
 事務事業番号 00785 博物館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-60-50-00-01-00	博物館管理運営事業費	市民部歴史博物館

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)開館日数	日	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		295.00	295.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)企画展示室貸室件数	件	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00
		24.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)常設展示観覧者数	人	20,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00
		16,019.00	18,282.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)企画展示室貸室入場者数	人	16,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00
		24,112.00	26,819.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
		評価理由	

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	来館者数は常設展示観覧者数、貸室入場者数ともに増加した。博物館の維持管理のため、空調機など修理を実施した。今後は施設の維持管理のため老朽化した箇所を計画的な修繕を行いながら、展示室や展示ケースの照明設備のLED化などにより、電力量の削減に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	利用者の方々が快適に支障なく観覧できるよう、計画的な設備の修繕や展示室の改修と各種資料の収集、保管、調査研究に努め、より多様な大津の歴史と文化の発信に努めること。		

